

乳幼児の歯みがき中の のど突き事故に注意!

こんなときに、
のど突き事故が起きています。



歩きながら歯みがきをしていて、
歯ブラシをくわえたまま顔から転倒



歯みがき中に兄弟でじゃれあい
転倒し、歯ブラシで口の中を損傷



保護者が目を離した際に、
バランスを崩し転倒

入院・通院になった危険な事故例

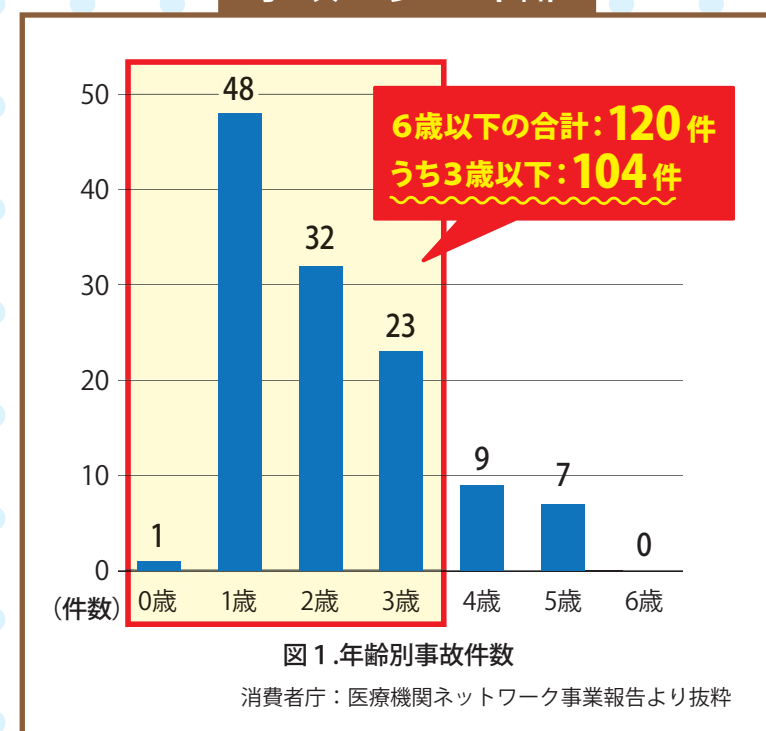
3歳 保護者が子どもに歯ブラシを渡し、目を離した際に転倒
→歯ブラシが口の中にささり、集中治療室に7日間入院した

1歳 座って歯みがきをしていた際、兄が上から覆いかぶさった
→歯ブラシがのどにささり出血し、集中治療室に11日間入院した



写真：消費者庁(独)国民生活センター公表資料

事故の多い年齢



救急相談・医療機関案内

救急安心センター
おおさか **TEL: #7119**

つながらない場合は・・・ **TEL: 06-6582-7119**

病気やケガなどで病院に行ったほうがいいのか、何科で診てもらえばいいのか、救急車を呼べばいいのかなど、判断に迷ったときにご利用ください。

子どもを事故から 守るために

子どもの事故を予防するには保護者の見守りは大切ですが、子どもはちょっとした隙に予期しない行動をするので見守りだけでは事故を防ぐのは困難です。生活環境の見直しや子どもの発達段階に応じた歯ブラシを使用することでリスクを低減しましょう。

歯みがきをするときの注意ポイント



保護者の見守りの中で 歯みがきをしましょう!

立っているより座っている状態の方が転倒時の受傷リスクを低減できます。



子どもにはのど突き防止 対策を施した歯ブラシ を持たせましょう!

3歳頃までは事故の危険性が高いため、歯ブラシにストッパーを付けるなど、のど突き防止仕様の歯ブラシを使うのが効果的です。



保護者が仕上げで使用する 歯ブラシは、子どもに持た せないようにしましょう!

仕上げ用の歯ブラシは持ち手が長いので、子どもが使うとのどを突きやすくなります。仕上げ用歯ブラシは子どもの手の届くところに置かないようにしましょう。



リンク先：
消費者庁公表資料
子どもの歯みがき中の
のど突き事故に気を付けましょう



歯みがきを行う場所や 生活環境を見直しましょう

ソファやクッションなどでの つまずき・転落に注意

不安定な場所での歯みがきはしないようにしましょう。



踏み台からの 転落に注意

踏み台に乗ってから歯ブラシを持たせましょう。歯ブラシは保護者が片付けましょう。



布団などでの つまずきや転倒に注意

歯みがきをするときは、歯ブラシを口にくわえたまま、または子どもに持たせたまま歩かせないようにしましょう。

